

# 平成26年度（公財）千葉県消防協会事業報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

近年の消防を取り巻く環境は、地震・集中豪雨等の自然災害が多数発生しており、予測し難い災害・事故の発生が危惧されるとともに、東日本大震災以来、大規模な地震発生の切迫性などが指摘されております。

このようなことから、消防防災の中核を担う常備消防及び消防団においては、時代に対応した総合的な消防防災対策の充実強化により、災害及び事故等の防止とともに安心・安全を確保し地域社会の健全な発展に資する必要があります。

また、平成25年度末に「消防団を中心とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立・施行され、地域防災力の強化を目指して、消防団の充実強化のための体制が整えられました。

県でも平成26年4月「千葉県防災基本条例」が施行され、防災に関して県民や事業者・自主防災組織・県・市町村などの役割が具体的に定めされました。

このため消防協会としては、県民への防災や消防の重要性等に関する普及啓発の推進とともに消防職・団員の消防防災能力の向上と士気高揚のための事業などの公益目的事業、福利厚生並びに弔慰救済等の相互扶助事業等を実施しました。

また、平成26年11月14日（金）、浦安市で「第20回全国女性消防団員活性化ちば大会」を開催しました。参加者は過去最高の3800人と大盛況となり、日本消防協会長から感謝状が授与されました。

## I 公益目的事業

### 1. 防災思想普及事業

災害等から生命、身体及び財産を守り被害を最小限に止めるため、各家庭・企業を問わず県民一人ひとりが常日頃から災害に対する関心と適切な活動（出火防止初期消火、応急救護等）を身につけられるよう、知識と技術の普及啓発、防災訓練の充実、防火組織の活動促進等を図った。

#### （1）千葉県防災センターを拠点とした普及啓発事業

県民の防災に対する意識の向上を図り、災害時の自主的な対応力を育てるための千葉県防災教育施設である千葉県西部防災センター（松戸市）において、来館された個人団体等に対し、記録映画等の上映、風・大雨・地震・避難・消火器使用の体験、こども向け防災読本の配布をし、防災思想の普及啓発を図った。

・平成26年度の来館者数 30,636名

また、松戸市消防局と共に、松戸市女性防火クラブの協力のもと「防火防災フェスティバル」を行った。

・防火防災フェスティバル（10月18日） 参加者2,471名

#### （2）機関誌「消防千葉」の発行

広く地域住民の消防に対する理解と協力を得るとともに、消防防災思想のなお一層の普及を図るため機関誌「消防千葉」を年間9回（通常8回、臨時1回）発行し、市町村をはじめ関係機関等に配布した。

ア 市町村関係	3 6 , 0 0 0 部
イ 官 公 署	3 , 4 0 0 部
ウ 県内外各種団体・学校・図書館等	5 , 6 0 0 部
計	4 5 , 0 0 0 部

### (3) 平成26年度千葉県消防関係定例表彰授与

千葉県消防大会に併せ、消防職員及び消防団員の日頃からの献身的な活動や功績を称えるため、消防・防災に功労・功績のあった消防機関及び消防功労者の表彰授与式を千葉県、千葉県少年婦人防火委員会と共に催で行った。

#### 《受 章 者》

##### ①消防庁長官表彰

功 劳 章	1 1 名
永年勤続功労章	9 2 名

##### ②千葉県知事表彰

特別功労章	1 5 名
永年勤続功労章	6 0 名
感謝状（内助功労者）	4 0 名
特別表彰	1 機関

##### ③日本消防協会長表彰

特別表彰まとい	1 機関
表彰旗	1 機関
竿頭綬	1 機関
功 績 章	3 4 名
精 績 章	8 3 名
勤 続 章	1 9 8 名

##### ④千葉県消防協会長表彰

特別功労章	1 1 名
永年勤続功労章	2 8 7 名
感謝状（内助功労者）	2 2 7 名
功 績 章	3 6 名
表 彰 状（全国消防操法大会出場）	6 名
特別表彰（千葉県消防操法大会出場）	2 団体
感 謝 状（全国消防操法大会出場指導）	2 名

##### ⑤千葉県少年婦人防火委員会長表彰

###### ・優良幼年消防クラブの部

富津市 学校法人富津学園 明澄幼稚園幼年消防クラブ

###### ・優良婦人防火クラブの部

鎌ヶ谷市 道野辺第二区自治会婦人防火クラブ

### (4) 全国火災予防運動の実施

総務省消防庁の提唱による全国火災予防運動を、千葉県と共に実施した。

ア 秋季全国火災予防運動 平成26年11月9日から11月15日まで

イ 春季全国火災予防運動 平成27年3月1日から3月7日まで

ウ 重 点 目 標

- ・住宅防火対策の推進 (秋季・春季)
- ・放火火災・連続放火火災防止対策の推進 (秋季・春季)
- ・特定防火対象物等における防火安全対策の徹底 (秋季・春季)
- ・製品火災の発生防止に向けた取組の推進 (秋季・春季)
- ・多数の観客等が参加する行事に対する火災予防指導等の徹底 (秋季)
- ・林野火災予防対策の推進 (春季)

秋季全国火災予防運動に合わせ、消防（局）本部・千葉県少年婦人防火委員会の協賛で防火ポスター10,000枚を作成し、消防（局）本部、市町村等に配布した。

(5) 第35回九都県市合同防災訓練・千葉県会場訓練の実施

県民の防災意識の高揚を図り、もって県民の生命・財産を災害から守り、安全で安心な生活を確保することを目的に、第35回九都県市合同防災訓練・千葉県会場訓練を千葉県及び銚子市と共に実施した。

ア 実 施 日 平成26年9月6日

イ 開 催 場 所 主会場：和田地域福祉センター前

ウ 参 加 機 関 約130機関

エ 参 加 人 員 約5,000人

(6) 防災活動団体への助成支援

火災予防思想の高揚を目指す千葉県少年婦人防火委員会及び地域の自主防災組織である婦人防火クラブ、幼年・少年消防クラブの活動を支援した。

婦人消防等自主防災組織が実施する防火、防災活動を助長し、災害の減少及び被害の軽減等を図るため活動費を助成した。

千葉県少年婦人防火委員会では、優良な幼年・少年消防クラブ及び婦人防火クラブを表彰し、千葉県と共に防火防災のポスター（1,027点応募）を募集して、優秀作品を表彰し記念品を贈呈（平成26年8月19日）した。

また千葉県婦人防火クラブ連絡協議会は、婦人防火クラブの指導員を対象とした研修会の実施及び各消防機関が実施する防災思想の普及啓発活動等に協力した。

(7) 第20回全国女性消防団員活性化ちば大会の開催

平成26年11月14日に浦安市舞浜で開催する第20回全国女性消防団員活性化ちば大会を開催した。

平成26年5月 2日（金）第5回運営委員会・ワーキング会議

6月 6日（金）第6回運営委員会・ワーキング会議

7月16日（水）第7回運営委員会・ワーキング会議

8月28日（木）第8回運営委員会・ワーキング会議

9月25日（木）第9回運営委員会・ワーキング会議

10月 8日（水）第3回実行委員会

10月27日（月）第10回運営委員会・ワーキング会議

11月13日（木）ちば大会リハーサル

◎第20回全国女性消防団員活性化ちば大会の開催

ア 開催日時 平成26年11月14日（金）10：00～

イ 場所 舞浜アンフィシアター・浦安市総合体育馆

ウ 参加人員 約3,800人

エ 大会テーマ

「女性の力で地域を守る～ちばから全国へ地域防災の輪をひろげよう～」

## 2. 教育訓練事業

消防・防災能力の拡充のため、消防職・団員による基礎的・専門的な知識・技能の向上、消防操法に関する普及、訓練成果の発表並びに消防関係機関の協力・連携等を図った。

### （1）消防団員指導員研修の実施

昭和44年度から（財）日本消防協会の受託事業として実施している研修で、26年度も千葉県消防学校へ指導協力を依頼し、組織活動を行う消防団員として必要な基礎的技術訓練及び火災防御・現場指揮の向上を図り、消防団運営の活性化に資するため実施した。

ア 実施日 平成26年11月29日から11月30日まで

イ 場所 千葉県消防学校

ウ 研修者 51人

エ 研修内容 訓練を重点とした研修

### （2）現地訓練の奨励

消防団員は日常様々な仕事に従事しており、多数の人員を千葉県消防学校に入校させ教育訓練することが困難であることから、現地訓練の奨励に努めた。

### （3）修学奨励金等の交付

消防職員及び消防団員の資質の向上を図るため、消防大学校及び千葉県消防学校への入校を奨励し、所定の課程を終了または卒業した者、また日本消防協会の実施する所定の研修を修了した者に対して、千葉県消防協会修学奨励金等の贈与規程に基づき修学奨励金等を交付した。

本年度の交付状況は次のとおりである。

修学課程		修学人員	修学奨励金等
消防大学校	各科	11	記念品
県消防学校	初任科	249	記念品
	専科	470	記念品
	消防団訓練	91	記念品
	計	821	

### （4）千葉県消防操法大会の実施

消防操法技術の一層の向上のため、10支部の消防操法大会（支部事業）で最優秀となった各支部代表チームによる千葉県消防操法大会を県と共に開催した。

ア　開催日　　平成26年7月26日（土）  
イ　開催場所　千葉県消防学校屋外訓練場  
ウ　参加人員　約2,000人

**(5) 第24回全国消防操法大会への参加**

総務省消防庁及び(財)日本消防協会の主催による全国消防操法大会が、平成26年11月8日（土）、東京臨海広域防災公園で開催され、本県からは八街市消防団が千葉県代表として出場し優良賞を受賞した。

また、全国消防操法大会に出場するにあたって八街市消防団に助成した。

**(6) 諸会議の開催**

消防関係機関との協働、連絡調整、意見交換等のため、会議の開催を行った。

**ア. 県下市町村消防長・消防団長会議の開催**

県下消防長・消防団長会議を平成26年7月3日から4日の両日にわたり鴨川市において開催した。

当消防協会から事業計画、予算等の説明を行うとともに、千葉県防災危機管理部、千葉県消防学校及び(公財)日本消防協会から当面する諸問題等について提案審議を行った。

なお、会議終了後「消防団と地域の防災力～東日本大震災からみえたもの～」と題し、NHK解説委員山崎登氏から講演が行われた。

**イ. 支部常務理事・事務主任者会議の開催**

支部常務理事及び事務主任者会議を平成26年4月9日に開催した。

千葉県防災危機管理部、千葉県消防学校及び当消防協会から実施する諸事業及び連絡事項等の説明を行った。

**3.弔慰救済事業**

郷土防災の使命を果たしその職に殉じられた御靈を慰め、併せて防災思想の普及等を図るため、消防殉職者慰靈祭を実施した。

**(1) 第50回消防殉職者慰靈祭の実施**

昭和4年3月「千葉県殉職消防組員警防団員の碑」として靈を祀って以来、合祀された殉職者の慰靈は消防組時代29柱、警防団時代11柱、消防（局）本部・消防団時代48柱、消防協力者6柱の94柱をかぞえるに至っている。

慰靈碑前で合同慰靈祭を執り行い、郷土防災の使命を果たしその職に殉じた御靈を慰め、あわせて消防士気の高揚と防災思想の普及に努めた。

ア　主　　催　　公益財団法人千葉県消防協会  
イ　後　　援　　千葉県・財団法人日本消防協会  
ウ　実　　施　　平成26年10月23日（木）  
エ　場　　所　　千葉県消防学校屋外訓練場  
オ　参　　加　　約300人

**(2) 傷病見舞金の贈呈**

弔慰救済金給付規程に基づき職務のため傷病を受けた者等に対し、次とおり見舞金等を贈呈した。

傷病見舞金　　4人　　100,000円

**4.報償事業**

**(1) 千葉県消防大会、消防出初式での表彰**

消防士気の高揚等を図るため、消防防災に功労・功績のあったものに対し、特別功労章、永年勤続功労章、功績章等の表彰を消防出初式、千葉県消防大会において行った。

平成27年消防出初式 平成27年1月6日～2月8日

各市町村

千葉県消防大会

開催日

平成27年3月18日(水)

開催場所

青葉の森芸術文化ホール

### 支部別受章者数一覧

	千葉	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	合計
日本消防協会長	78	97	62	12	11	15	8	7	16	12	318
特別表彰まとい	1										1
表彰旗				1							1
竿頭綬	1										1
功績章(一般)	4	6	6	3	2	3	2	2	2	3	33
功績章(女性)	1										1
精績章(一般)	10	15	14	6	6	8	4	5	5	7	80
精績章(女性)	1	2									3
勤続章	60	74	42	2	3	4	2	0	9	2	198
千葉県消防協会長	155	267	175	48	58	102	43	104	52	73	1077
出初式	64	100	84	37	37	48	25	30	36	45	506
功労章	16	25	22	9	9	12	6	7	9	11	126
精勤章	48	75	62	28	28	36	19	23	27	34	380
千葉県消防大会	91	167	91	11	21	54	18	74	16	28	571
特別功労章	1	2	2	1	1	1	1	1	0		11
永年勤続功労章	47	85	46	4	9	28	8	37	6	17	287
功績章	4	7	6	3	3	3	2	2	3	3	36
表彰状	個人			6							6
	団体		1	1							2
感謝状	ア	39	72	28	3	8	22	7	34	6	8
	イ			2							2
合計	233	364	237	60	69	117	51	111	68	85	1395

### 5. 支部活動事業

(1) 消防知識の一層の普及、消火技術の向上のために地域活動として支部消防操法大会を各地区で実施して県消防操法大会への出場チームを選抜した。

各支部消防操法大会

支部名	支部大会開催日	ポンプ車代表団	小型ポンプ代表団
千葉支部	6月29日	習志野市消防団	市原市消防団
東葛飾支部	6月22日	浦安市消防団 柏市消防団	市川市消防団 松戸市消防団
印旛支部	6月29日	印西市消防団 成田市消防団	八街市消防団 印西市消防団
香取支部	6月28日	香取市消防団	神崎町消防団
海匝支部	6月29日	匝瑳市消防団	旭市消防団
山武支部	6月29日	山武市消防団	横芝光町消防団
長生支部	6月29日	長生郡市広域組合	長生郡市広域組合
夷隅支部	6月22日	いすみ市消防団	いすみ市消防団
安房支部	6月22日	南房総市消防団	鋸南町消防団
君津支部	7月 5日	君津市消防団	袖ヶ浦市消防団

- (2) 消防活動への表彰と、士気高揚のために消防出初式等において優秀な団員に対して支部長表彰を行った。
- (3) 地域での研修や春・秋の火災予防運動において消防防災知識の普及を図った。

## II 収益等事業

### 1. 消防団福祉共済事業

#### (1) 福祉共済制度への加入促進

(公財)日本消防協会による共済制度で、公務以外の災害や疾病に対する保障も兼ね備え、消防職員及び消防団員の健康管理に対する施策の推進を図り、消防関係者の相互扶助共済として連帶の強化に寄与している本制度への加入促進を図った。

本県では、43消防団の消防団員(24,238人)、消防職員8団体(1,074人)、自主防災隊3団体(34人)及び当消防協会(44人)が加入している。

平成26年度の本制度に基づく共済金の交付実績は、次のとおりである。

遺族援護金	18件	14,000,000円
入院見舞金	28件	2,116,500円

#### (2) 火災共済制度への加入促進

生活協同組合全日本消防人共済会による全国の消防職員、消防団員及び消防関係者等の加入者の不慮の災害による損害を補償するための共済制度であり、この制度への加入促進を図った。

本県では、消防職団員等2,491人がこの制度に加入している。

#### (3) 婦人消防隊員等福祉共済制度への加入促進

婦人消防隊員等の福利厚生を図るため、(公財)日本消防協会が平成4年度から実施している共済制度で、隊務以外の災害や疾病に対する保障も兼ね備えた共済制度であり、本県では4団体の婦人防火・消防クラブ員338人が加入してい

る。

#### (4) 消防個人年金制度への加入促進

消防職員・消防団員の相互努力によりつくり育てて、豊かな老後と安定した生活を築くため、(公財)日本消防協会が実施する消防個人年金制度への加入促進を図った。

本県では、128名が加入している。

#### (5) 消防育英会による奨学金の給付

(公財)消防育英会が実施する奨学金制度で、消防職員及び消防団員が殉職または公務上身体に障害が残った場合及び県民が消防の職務に協力援助し同様の被災をした場合、殉職者等の子弟に対し奨学金等を給付する制度である。

平成26年度は、本県で2人の奨学生がこの奨学金を受給している。

#### (6) 福祉増進事業助成

消防団員の健康増進等に資するため(公財)日本消防協会の消防団員等福祉共済制度による助成を受け、健康増進機器等の交付及びスポーツ大会等の経費の一部を助成した。

ア 健康器具等の購入配布

48消防団 32,000円以内健康器具等

イ スポーツ行事助成

13消防団(1消防団 39,200円以内)

### 2 退職者報償事業

表彰規程に基づき、退団された会員で在職中の功績が特に顕著な者に対し、本年度も次のとおり金盃・感謝状を贈呈した。

金盃及び感謝状交付の状況 (単位:人)

支部名	人 数	支部名	人 数
千葉	77	長生	—
東葛飾	88	夷隅	—
印旛	11	安房	40
香取	276	君津	44
海匝	27		
山武	—	計	563

### 3 施設貸与事業

千葉県消防会館の空き室について千葉県及び2団体に有償貸与した。

## III 法人活動事業

#### (1) 諸会議への出席

千葉県や(公財)日本消防協会等の諸会議及び諸行事に出席し、情報収集、意見交換等を行った。

○千葉県水防協議会役員会 平成26年4月24日 千葉市

○関東甲信地区消防協会会議 平成26年6月2・3日 山梨県

○消防救助技術千葉県大会 平成26年6月3日 千葉市

- 地域防災力充実強化大会 平成 26 年 8 月 29 日 東京国際フォーラム
- 日本消防協会正副会長会議 平成 26 年 9 月 10 日 日本消防協会
- 全国消防殉職者慰靈祭 平成 26 年 9 月 11 日 日本消防会館
- 女性消防団国際会議 平成 26 年 9 月 29 日 都市センターホテル
- 関東甲信消防協会事務局長会議 平成 26 年 12 月 11・12 日 東京都
- 日本消防協会正副会長会議 平成 26 年 12 月 18 日 日本消防協会
- 千葉県消防広域応援隊合同訓練巡視 平成 27 年 1 月 30 日 千葉市
- 全国消防協会事務局長会議 平成 27 年 3 月 3 日 日本消防協会
- 日本消防協会役員会 平成 27 年 3 月 10 日 日本消防協会
- 日本消防協会定例表彰式 平成 27 年 3 月 10 日 日本消防協会
- 千葉県消防大会 平成 27 年 3 月 18 日 青葉の森芸術文化ホール

## (2) 理事会、評議員会等の開催

- 平成 26 年 5 月 23 日
 

監事会	開催場所	協会 1F 会議室
	審査事項	平成 25 年度事業報告、収支決算
	出席等	監事 3 名
- 平成 26 年 5 月 28 日
 

定時評議員会	開催場所	ホテルポートプラザちば
	決議事項	・補欠評議員並びに理事、監事及び支部長の選任
	出席等	14 名
- 平成 26 年 5 月 28 日
 

定時理事会	開催場所	ホテルポートプラザちば
	決議事項	・会長（代表理事）の選定 ・平成 25 年度事業報告、収支決算の承認
	出席等	19 名
- 平成 26 年 5 月 29 日
 

臨時評議員会	開催場所	ホテルポートプラザちば
	決議事項	・平成 25 年度事業報告、収支決算の承認
	出席等	17 名
- 平成 26 年 10 月 18 日
 

臨時理事会	開催場所	ホテルポートプラザちば
	決議事項	・平成 26 年度千葉県消防協会収支補正予算の承認
	出席等	理事 17 名、監事 2 名
- 平成 26 年 10 月 22 日
 

評議員会	書面決議	
	決議事項	・平成 26 年度千葉県消防協会収支補正予算

の承認  
同意 評議員全員 20名

○ 平成26年12月16日

臨時理事会 開催場所 ホテルポートプラザちば  
決議事項 ・第20回全国女性消防団員活性化ちば大会  
の承認  
出席等 理事17名、監事2名

○ 平成27年3月26日

定時理事会 開催場所 自治会館  
決議事項 ・平成26年度収支補正予算の承認  
・平成27年度事業計画の承認  
・平成27度収支予算、資金調達等書類の承認  
出席等 理事16名、監事3名

○ 平成27年3月27日

臨時評議員会 開催場所 ホテルポートプラザちば  
決議事項 ・平成26年度収支補正予算の承認  
・平成27年度事業計画の承認  
・平成27年度収支予算、資金調達等書類の承認  
出席等 17名

#### IV その他

これまで会計外で処理されてきた「千葉県消防操法」の出版及び日本消防協会の取扱う物品のあっせん等について、包括外部監査の指摘を踏まえ、会計内にとりこんだ（総額 11,305,217円）。

今後、これらの事務についてどのような事業として位置づけるかについては、協会において検討する。

# **事業報告附属明細書**

平成 26 年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 27 年 5 月

公益財団法人千葉県消防協会

議案第 7 号

平成 26 年度公益財団法人千葉県消防協会収支決算について

平成 26 年度公益財団法人千葉県消防協会の収支決算について、  
公益財団法人千葉県消防協会定款第 9 条第 1 項の規定により、別添の  
貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認を求める。

平成 27 年 5 月 26 日

公益財団法人千葉県消防協会

会長 石橋 毅

## (1) 貸 借 対 照 表

平成27年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
	円	円	円
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	373,778	0	373,778
普通預金	18,648,722	12,007,153	6,641,569
未収金	13,806	0	13,806
棚卸資産	1,050,964	0	1,050,964
流動資産合計	20,087,270	12,007,153	8,080,117
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	108,670,645	108,670,645	0
定期預金	429,355	429,355	0
基本財産合計	109,100,000	109,100,000	0
(2) 特定資産			
弔慰引当資産	8,028,256	7,728,256	300,000
会館準備積立資産	22,176,401	22,176,401	0
特定資産合計	30,204,657	29,904,657	300,000
(3) その他固定資産			
建物	10,233,209	10,731,233	△ 498,024
工作物	340,000	340,000	0
車両運搬具	139,500	139,500	0
その他固定資産合計	10,712,709	11,210,733	△ 498,024
固定資産合計	150,017,366	150,215,390	△ 198,024
資産合計	170,104,636	162,222,543	7,882,093
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
(1) 未払金			
(2) 預り金			
社会保険	280,085	1,628,528	△ 1,348,443
雇用保険	321,330	0	321,330
(3) 敷金預り金	52,448	0	52,448
(4) 賞与引当金	0	300,000	△ 300,000
流動負債合計	1,473,691	0	1,473,691
	2,127,554	1,928,528	199,026
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,127,554	1,928,528	199,026
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	167,977,082	160,294,015	7,683,067
(うち特定資産への充当額)	(109,100,000)	(109,100,000)	(0)
	(30,204,657)	(29,904,657)	(300,000)
正味財産合計	167,977,082	160,294,015	7,683,067
負債及び正味財産合計	170,104,636	162,222,543	7,882,093

(2) 正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	663,514	1,038,284	△ 374,770
② 受取会費			
準会員受取会費	300,000	300,000	0
③ 受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	44,000,000	44,600,000	△ 600,000
受取日本消防協会補助金	6,245,750	8,668,903	△ 2,423,153
受取福祉共済事業補助金	4,382,000	4,549,438	△ 167,438
④ 事業収益			
機関誌広告料収益	480,000	520,000	△ 40,000
賃貸料	7,545,332	7,848,000	△ 302,668
その他事業収益	58,585	50,899	7,686
⑤ 受取負担金			
受取市町村負担金	12,454,000	12,443,000	11,000
受取支部事業負担金	9,413,100	9,588,990	△ 175,890
受取消防人共済会負担金	113,150	113,150	0
貸室付帯収益	705,237	687,093	18,144
⑥ 雜収益			
受取利息	0	21,743	△ 21,743
雑収益	495,205	45,427	449,778
支部雑収益	53,963	6,360	47,603
経常収益計	86,909,836	90,481,287	△ 3,571,451
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	8,756,199	8,537,566	218,633
給料手当	24,374,560	23,845,248	529,312
福利厚生費	5,251,736	4,967,016	284,720
賞与引当金繰入額	1,440,467	0	1,440,467
会議費	1,558,557	1,225,698	332,859
旅費交通費	1,216,131	2,452,299	△ 1,236,168
通信運搬費	2,139,895	2,101,948	37,947
減価償却費	440,253	523,130	△ 82,877
消耗什器備品費	745,119	1,367,690	△ 622,571
消耗品費	8,260,149	10,807,557	△ 2,547,408
修繕費	72,800	711,289	△ 638,489

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
印刷製本費	4,117,478	3,504,661	612,817
燃料費	189,281	297,452	△ 108,171
光熱水費	1,316,440	1,325,897	△ 9,457
借損料	2,601,757	2,921,493	△ 319,736
諸謝金	108,320	30,000	78,320
退職者報償費	1,210,050	1,775,220	△ 565,170
手数料	0	39,760	△ 39,760
負担金	556,000	642,300	△ 86,300
支払助成金	6,541,000	8,303,560	△ 1,762,560
福祉増進事業助成金	1,934,660	1,941,775	△ 7,115
修学奨励費	185,760	550,800	△ 365,040
図書費	16,160	6,780	9,380
葬祭費	1,207,328	1,597,891	△ 390,563
定例表彰費	1,726,812	488,486	1,238,326
女性活性化大会繰出金	0	6,000,000	△ 6,000,000
殉職者弔慰金	0	370,000	△ 370,000
傷病見舞金	100,000	170,000	△ 70,000
交際費	0	377,793	△ 377,793
報償費	1,965,969	1,611,472	354,497
② 管理費			
役員報酬	274,990	529,650	△ 254,660
給料手当	489,139	449,400	39,739
福利厚生費	341,782	244,197	97,585
賞与引当金繰入額	33,224	0	33,224
会議費	160,978	129,387	31,591
旅費交通費	128,214	0	128,214
通信運搬費	172,589	462,992	△ 290,403
減価償却費	57,771	0	57,771
消耗什器備品費	230,014	84,640	145,374
消耗品費	1,397,312	1,020,590	376,722
印刷製本費	140,335	74,487	65,848
貸借料	407,000	446,328	△ 39,328
借損料	1,519,972	1,431,118	88,854
災害保険料	79,640	77,580	2,060
諸謝金	720,510	580,617	139,893
租税公課	641,500	914,100	△ 272,600
手数料	306,728	268,890	37,838
負担金	4,981,227	1,051,598	3,929,629
委託料	1,154,888	1,151,279	3,609
交際費	312,256	0	312,256
経常費用計	91,582,950	97,411,634	△ 5,828,684
評価損益等調整前経常増減額	△ 4,673,114	△ 6,930,347	2,257,233

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,673,114	△ 6,930,347	2,257,233
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度修正益（操法解説書）	10,635,184	0	10,635,184
過年度修正益（あっせん手数料）	530,121	0	530,121
過年度修正益（記章、冊子）	139,912	0	139,912
過年度修正益（操法解説書在庫）	922,156	0	922,156
過年度修正益（賞状用紙在庫）	22,728	0	22,728
過年度修正益（タイピン等在庫）	106,080	0	106,080
経常外収益計	12,356,181	0	12,356,181
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	12,356,181	0	12,356,181
当期一般正味財産増減額	7,683,067	△ 6,930,347	14,613,414
一般正味財産期首残高	160,294,015	167,224,362	△ 6,930,347
一般正味財産期末残高	167,977,082	160,294,015	7,683,067
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	167,977,082	160,294,015	7,683,067

## (3) 財産目録

平成27年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	社会保険、労働保険の預り金として	373,778
	普通預金（本部）	千葉銀行 県庁支店	事業活動資金として	15,087,187
	普通預金（千葉支部）	千葉銀行 県庁支店	支部事業活動資金として	1,271,460
	普通預金（東葛飾支部）	千葉銀行 市役所出張所	支部事業活動資金として	1,182,309
	普通預金（印旛支部）	千葉銀行 佐倉支店	支部事業活動資金として	62,897
	普通預金（香取支部）	千葉銀行 佐原支店	支部事業活動資金として	25,280
	普通預金（海匝支部）	千葉銀行 旭支店	支部事業活動資金として	398,503
	普通預金（山武支部）	千葉銀行 東金支店	支部事業活動資金として	33,111
	普通預金（長生支部）	千葉銀行 茂原支店	支部事業活動資金として	233,979
	普通預金（夷隅支部）	千葉銀行 大多喜支店	支部事業活動資金として	151,005
	普通預金（安房支部）	千葉銀行 館山支店	支部事業活動資金として	5,539
	普通預金（君津支部）	木更津信用組合 本店	支部事業活動資金として	197,452
	未収金		消防団員指導員研修費用の未収金	13,806
	棚卸資産		操作法解説書、賞状用紙、タイピン等の在庫	1,050,964
流動資産合計				20,087,270
(固定資産)	投資有価証券	千葉県債・千葉市債	管理運営財産であり、運用益を法人会計の財源にしている。	108,670,645
	定期預金	千葉銀行 県庁支店	管理運営財産であり、運用益を法人会計の財源にしている。	429,355
	特定資産	弔慰引当資産	千葉銀行 松ヶ丘支店 三井住友信託銀行 千葉支店  殉職者の弔慰金積立資産である。	(基本財産計) 109,100,000 8,028,256
		会館準備積立資産	三井住友信託銀行 千葉支店  消防会館修繕等準備預金	22,176,401
		建物	千葉県消防会館 千葉市中央区仁戸名町666-2  共用財産として管理している。 公益目的保有財産：12.2%	(特定資産計) 30,204,657 10,233,209
		工作物	自家用受変電設備 千葉市中央区仁戸名町666-2  共用財産として管理している。 公益目的保有財産：60.0%	340,000
		車両運搬具	トヨタマークII 1台  共用財産として管理している。 公益目的保有財産：60.0%	139,500
			収益事業等その他の業務の用に供する財産：87.8%  収益事業等その他の業務の用に供する財産：40.0%	(その他固定資産計) 10,712,709
				150,017,366
				170,104,636
(流動負債)	未払金	東京電力他等に対する未払金	公益目的事業、収益事業等における未払費用	280,085
	預り金	社会保険、労働保険預り金	(未払金計) 280,085	321,330
			社会保険預り金	52,448
	賞与引当金		(預り金計) 373,778	1,473,691
流動負債合計				1,473,691
(固定負債)				2,127,554
				0
				2,127,554
固定負債合計				167,977,082
負債合計				
正味財産				

(4) 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 平成24年度から「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会）を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券：購入時の取得価額によっている。なお、取得価額と債権金額との差額について重要性に乏しいため、償却原価法は採用していない。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
固定資産の減価償却方法は、定率法で行っている。
- (4) 引当金の計上基準  
賞与引当金：  
役職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (5) 棚卸資産の評価方法  
棚卸資産の評価方法は、最終仕入原価法によっている。
- (6) 消費税等の会計処理  
消費税の経理処理は、税込方法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	108,670,645	0	0	108,670,645
定期預金	429,355	0	0	429,355
小 計	109,100,000	0	0	109,100,000
特定資産				
弔慰引当資産	7,728,256	300,000	0	8,028,256
会館準備積立資産	22,176,401	0	0	22,176,401
小 計	29,904,657	300,000	0	30,204,657
合 計	139,004,657	300,000	0	139,304,657

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	108,670,645	(0)	(108,670,645)	(0)
定期預金	429,355	(0)	(429,355)	(0)
小 計	109,100,000	(0)	(109,100,000)	(0)
特定資産				
弔慰引当資産	8,028,256	(0)	(8,028,256)	(0)
会館準備積立資産	22,176,401	(0)	(22,176,401)	(0)
小 計	30,204,657	(0)	(30,204,657)	(0)
合 計	139,304,657	(0)	(139,304,657)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	50,187,545	39,954,336	10,233,209
工作物	6,800,000	6,460,000	340,000
車両運搬具	2,790,000	2,650,500	139,500
合 計	59,777,545	49,064,836	10,712,709

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	千葉県	0	44,000,000	44,000,000	0	—
日本消防協会補助金 公財) 日本消防協会		0	6,245,750	6,245,750	0	—
福祉共済事業補助金 公財) 日本消防協会		0	4,382,000	4,382,000	0	—
合 計		0	54,627,750	54,627,750	0	

6. 引当金の明細

引当金の内訳並びに、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	0	1,473,691	0	0	1,473,691
合 計	0	1,473,691	0	0	1,473,691

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第33条に規定する「重要な固定資産の明細」及び「引当金の明細」は財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書は作成しない。